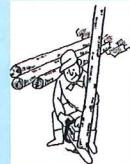


しいたけホダ木づくり 無料

5月5日 10時～ 木工芸館前



原木シイタケの作り方

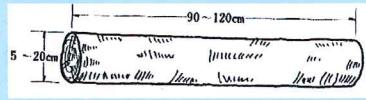
1 伐採

伐採時期は広葉樹が紅葉する頃から春（2月）までです。伐採が遅ると乾燥不足になります。



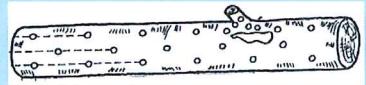
2 葉枯らし

伐倒後2週間以上は葉を付けたまま葉枯らしを行います。



3 原木

原木は5～20cmくらいのものを90cmに玉切りします。（余分な水分をぬくために）

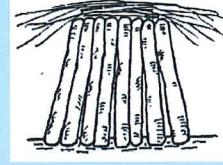
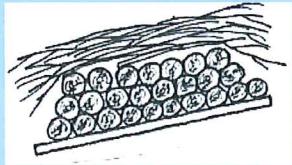


4 植菌

植菌は6～7cmの幅で、20～25cmの間隔でうえます。

5 仮伏せ

キノコの菌をのばす（まん延）作業で、棒積みと束立ての2種類があります。



北海道のような寒冷地ではムシロでおおい、ビニールで囲み温度をとります。

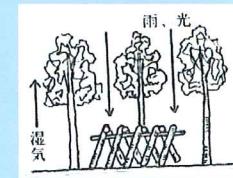


1家族1本、お持ち帰りOK



6 菌まわり

キノコの菌糸は縦方向によく伸びます。写真的黒く縁取りをしているのが菌糸のまわった状況です。



7 本伏せ

キノコを発生させる準備作業です。
本伏せを行う場所は木漏れ日が差し込む広葉樹林内が最適です。

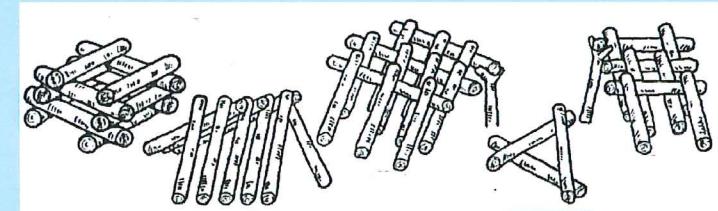
近くに森がない時は庭木などの木陰に伏せ込みます。

8 ほだ木の組み方

ほだ木の組み方は下の図の左から井桁積み、百足伏せ、よろい伏せ、三角積み、鳥居積みです。

1m以下に組むのが基本ですが、森林以外の庭木の下などに伏せ込むときは低めに組みます。

乾燥ぎみの時は散水を行います。このとき、西日が強く当たるところはさけます。



食菌後2年目からシイタケが採れます

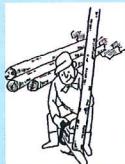
しいたけホダ木づくり 無料

5月6日 10時～

森林学習センター前

1家族1本、お持ち帰りOK

原木シイタケの作り方



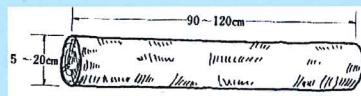
1 伐採

伐採時期は広葉樹が紅葉する頃から春（2月）までです。伐採が遅れると乾燥不足になります。



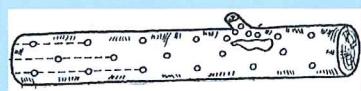
2 葉枯らし

伐倒後2週間以上は葉を付けたまま葉枯らしを行います。



3 原木

原木は5～20cmくらいのものを90cmに玉切りします。（余分な水分をぬくために）

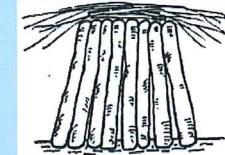
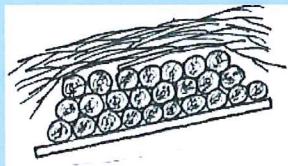


4 植菌

植菌は6～7cmの幅で、20～25cmの間隔でうえます。

5 仮伏せ

キノコの菌をのばす（まん延）作業で、棒積みと束立ての2種類があります。

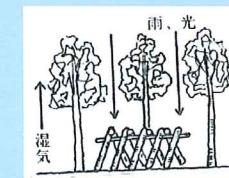


北海道のような寒冷地ではムシロでおおい、ビニールで囲み温度をとります。



6 菌まわり

キノコの菌糸は縦方向によく伸びます。写真的黒く縁取りをしているのが菌糸のまわった状況です。



7 本伏せ

キノコを発生させる準備作業です。

本伏せを行う場所は木漏れ日が差し込む広葉樹林内が最適です。

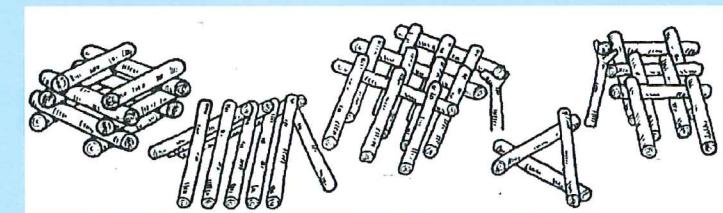
近くに森がない時は庭木などの木陰に伏せ込みます。

8 ほだ木の組み方

ほだ木の組み方は下の図の左から井桁積み、百足伏せ、よろい伏せ、三角積み、鳥居積みです。

1m以下に組むのが基本ですが、森林以外の庭木の下などに伏せ込むときは低めに組みます。

乾燥ぎみの時は散水を行います。このとき、西日が強く当たるところはさけます。



食菌後2年目からシイタケが採れます